

第13回日本感染管理ネットワーク東北支部総会・研修会報告

2024年10月12日（土）12:30～16:30 岩手県盛岡市 マリオス180・181室において、「災害に備える、互いに支える感染制御活動～様々な場面での支援からみてきたこと～」というテーマで開催いたしました。



総会 東北支部会員144名中42名（及び委任状54名）の参加により、議案は可決されました。 水野支部長あいさつ

研修会 東北支部会員42名 非会員9名 合計51名の参加がありました。各県代表による「災害時の感染制御活動報告」が行われました。

教育講演として、日本環境感染学会 災害時感染制御検討委員会副委員長 櫻井滋先生による、「災害時感染制御支援チーム（DICT）と ICNに求められる役割」が行われました。



青森：元木健介さん



秋田：中村美央さん



岩手：福田祐子さん



宮城：佐藤ひろみさん



山形：栗田香さん



福島：西畑利恵子さん



災害時感染対策の第一人者として、DICTの立ち上げから現在、私たちがやるべきことをわかりやすく面白く教えていただきました。

ICNの能登半島支援、自施設の水害時の対応、ICATの歩みについて、震災の経験、災害支援ナースとしての活動、自然災害における人・物など経験でしか得られない知見を熱く語っていただきました。涙しながら聴講する方もおり、忘れられない研修会となりました。



発表者・講師・支部役員一同